

## 第10回つくば市未来構想等審議会

日時：令和2年（2020年）1月29日（水）

午後1時00分～3時00分

場所：庁議室

### 次 第

#### 【全体会】

#### 1 開会

#### 2 報告

（1）第9回審議会の開催報告

#### 3 議事

（1）パブリックコメント手続の実施結果と対応方針について

（2）未来構想及び戦略プランの答申について

#### 4 閉会

### 配付資料

報告1	第9回つくば市未来構想等審議会意見と対応方針	…P2
資料1	【つくば市未来構想改定（案）】パブリックコメント手続の実施結果と対応方針（案）【継続審議のため非公開】	…P10
資料2	【第2期つくば市戦略プラン（案）】パブリックコメント手続の実施結果と対応方針（案）【継続審議のため非公開】	…P19
資料3	つくば市未来構想改定（案）【継続審議のため非公開】	別冊①
資料4	つくば市第2期つくば市戦略プラン（案）【継続審議のため非公開】	別冊②
資料5	未来構想及び戦略プランの答申・完成に向けた今後のスケジュール	…P35

## 第9回つくば市未来構想等審議会 主な意見と対応方針

日時 : 令和元年12月3日(月) 13:30~15:30

場所 : つくば市役所5階 庁議室

出席者 : つくば市未来構想等審議会委員26名 事務局7名

## 1 報告(1) 未来構想キャラバンのスケジュールと開催報告について

No.	発言者	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
1	市長	キャラバンを実施している中で、気軽に立ち寄れる、市民の身近にある「たまり場」が欲しいという意見が多くあった。今後行政と民間が連携した市民のための空間づくりを検討する必要があると考えている。 (事務局説明の補足)	—	—

2 報告(2) 第8回審議会の開催報告及び議事(1) 戦略プラン案の修正状況について  
(発言内容に合わせて並び替え)

No.	発言者	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
2	小原委員	「I-1-② 区会加入及び新規区会設立促進と活動支援」について、区会数を増加させる指標があるが、小規模な区会が増えることは好ましくなく、一定規模の区会が設立・保たれるよう行政側でもコントロールして欲しい。	□区会の適正規模が今後の課題となると思われるため、再度指標を検討したいと思う。 (WT) □区会の充実さを図る指標は加入人数だけでも十分だと思う。そのため、指標1は削除することを検討したい。(毛塚委員)	指摘を踏まえ、区会数の増加の指標は削除した。区会の加入戸数のみでも施策の目的を図れるものと考ええる。
3	山本委員	「I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる」で、以前から個別施策が1つ少なくなっているのはなぜか。	■内容の精査をした結果、追加もしくは削除された個別施策がある。審議会の中で合わせて説明させていただく。 □施策を再検討し、組み換え作業を行っている。 (政策イノベーション部長)	—

No.	発言者	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
4	横田 委員	「Ⅰ-3-① 緑豊かで魅力ある研究学園都市地域の推進」について、緑豊かなまちづくりと、科学技術のつながりがわかりにくい。	□科学技術と緑豊かなまちづくりの関連性は事務局と相談しながら検討したい。(WT)	Ⅰ-3-①「緑豊かで魅力ある研究学園都市地域の推進」について、「緑豊かで」を削除し、「魅力ある研究学園都市地域の推進」と修正した。
5	山口 委員	「Ⅱ-3-① 市の備蓄の推進や公共施設の機能維持」に記載されているPJのうち、詳細に書かれているものと、抽象的に書かれているものがあり、粒度差がある。	■PJの粒度については、再度検討する。	指摘部分の粒度が細かいものを見直し、全体的な調整を行った。
6	西 委員	「Ⅱ-5-① まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築」について、つくバスを特出している理由は、つくば市が運営するコミュニティバスだからということでしょうか。 「Ⅱ-5-② 自動車から自転車への転換の推進」について、自転車以外のモビリティの運用について記載の予定はないか。	■未来構想は行政視点で記載される計画であるため、コミュニティバスを特出しているが、民間事業者に対する内容を再度検討したいと思う。自転車以外のモビリティについては、近年の動向を加味して記載の検討をしたいと思う。 □電動キックボードやセグウェイの運用には、法律のしがらみが存在するため、自治体レベルで打破するのは難しく、スーパーシティでの取組に期待したい。(山海委員)	うまくいっている点に民間バスとの連携等に関する部分を追記した。 Ⅱ-5-②は自転車に関する施策であり、パーソナルモビリティについては、先進技術の実装という観点からスマートシティ推進の分野に含まれていると整理する。
7	山海 委員	「Ⅲ-2-③ 就学前におけるこどもの学びの充実」について、遊びながら、興味を持った	■いただいたご意見をもとに再度、検討したい。 □Ⅱ-2-③の「学び」と「遊び」の表現について	「Ⅲ-2-③ 就学前におけるこどもの学 <del>び</del> 遊びや体験の充実」と個別施策名を変更

No.	発言者	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
		分野について学んでいくというワクワク感が伝わる能動的な書きぶりを検討したほうが良いと思う。	は庁内で改めて検討し、各委員へご意見を伺いたいと思う。	し、内容も教育大綱の表現を参考にして修正した。
8	中嶋 (修) 委員	報告2 対応方針「遊びではない学び」という表現について、遊びではない学びは一般の学びであるとともに、収穫体験や野外炊飯等を学びとしている点に対して疑問を持った。	■「学び」、「遊び」、「体験」については再度検討したい。	
9	山本 委員	「遊び」、「学び」のとらえ方が、事務局と委員の間に差があると思う。就学前の学びは遊びであることを全面的に表現したほうが良い。	—	
10	永井 委員	就学前におけるこどもの学びの充実における「保幼小接続カリキュラム」とはどのようなものか。	■保幼小接続カリキュラムは保育園、幼稚園に通っている子供たちがスムーズに小学校へ進学することができるようにする取組である。	—
11	永井 委員	「IV-3- ① スマートシティの推進」について、一般の方にはまだ浸透していない言葉であるため、よりわかりやすい表現の検討をしたほうが良い。	■「スマートシティ」の言葉・表現について再検討する。 □「スマートシティ」は国際レベルで共通用語となりつつあるため、文言はのこしつつ、他の表現を併記した形での記載を検討したいと思う。(政策イノベーション部長)	個別施策名を「人とテクノロジーが共生するスマートシティの推進」に修正した。

No.	発言者	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
12	山海 委員	スマートシティは国際的に一般的になりつつある言葉であるため、表現は残しておいたほうが良いと思う。	—	個別施策名を「人とテクノロジーが共生するスマートシティの推進」に修正した。
13	桜井 委員	スマートシティの推進に関連し、関東の子どもたちに校外学習コースを提供し、つくば市に人を呼び込む工夫が必要だと思う。 観光と校外学習は違うものであるため、記載にあたっては留意したほうが良いと思う。	□「観光」と「校外学習」については、意味が違うことを留意して、混在しない書き方を検討したい。 (政策イノベーション部長)	スマートシティの取組を国内外に発信する内容について追加した。あわせて、既存の施策と連携し、科学を体験でき、かつつくば市外から人を呼び込む工夫を検討したい。
14	林 委員	スマートシティの具体的なPJの数は指標にはならないか。もしくはPJの関わった人数を指標にすることを検討できないか。	□PJの数を増やすことを施策の目標とすると、市民の課題意識が図られないPJが増えてしまう懸念があるため、満足度を指標に取り入れている。(WT) □スマートシティに関する指標について増やすことを検討してはどうか。 (大澤会長)	プロジェクト数を指標とすると、プロジェクトの遂行が目的となってしまうため、適さないと考えた。また、プロジェクトの利用者数を指標とすることについて、同様に利用者数を増やすことが目的となってしまう、また、利用者数はプロジェクトの大小により数値が大きく変動し、目標値の設定が難しいため、指標として適さないと考えた。
15	横田 委員	スマートシティを推進するためのデータ活用の配慮に関する記載を検討したほうが良いと思う。	□つくば市で制定されたスマートシティの倫理原則では、市民の方の懸念内容を配慮していく旨を記載しているため、倫理原則で対応している内	IV-3-②「データで市民を豊かにするまちの推進」の「■個別施策の目的と方向性」に「個人情報に配慮しながら」という文言を追

No.	発言者	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
			容を未来構想に記載したいと思う。(政策イノベーション部長)	記した。 また、倫理原則についてはスマートシティに関するものであるため、スマートシティの推進に関する施策のうまくいっている点に倫理原則の制定について追記した。
16	中嶋 (信) 委員	「IV-4 地球に優しくごみのない低炭素で循環型のまちをつくる」の生活系ごみ排出量削減は、施策に対する目標を低く設定されているように思う。	□施策に対する目標は、国の基準に準じて設定している。(WT) □国の基準に準じたうえで追加の内容を検討したいと思う。(大澤会長)	当目標値は、今年度策定を進める個別計画である「一般廃棄物処理基本計画」の策定過程において、学識者等による審議会の検討を経て決定された目標値であり、適正な水準であると考えている。
17	中嶋 (信) 委員	生活系ごみ排出量削減に記載されている数値について、再資源化、再利用化したものを除いた数字と読まれてしまうので検討したほうが良いと思う。	□数値の設定について、再度検討したいと思う。(WT)	再資源化、再利用化したものを除いた数字と読まれてしまうことについては、生活系ごみの用語解説の変更と指標の選定理由を「燃えるごみ」と記載していることから「生活系ごみ」に統一することにより対応する。
18	永井 委員	「IV-4- ① 食品ロス削減に向けた意識啓発」について、食品ロスの対象とする範囲、及び食品ロスの実態の把握に関する内容をPJのなかで再検討していただきたい。	—	取り組みの初期段階であり、実態を把握するための基礎がない状態である。2024年までの計画は、協力店を増やし、ネットワークをつくることとし、その後の計画で、実態把

No.	発言者	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
				握から効果を定量評価できるようにしていく。よって、今回の計画では、具体的な対象範囲や実態の把握については、盛り込まない。
19	桜井委員	生ごみなどの食品ロスについては、施設ごとに分別する、または動物の餌にするなど、ごみを焼却炉に入れない検討をすると良いと思う。	—	食品ロスは廃棄物を発生させないことであり、生ごみ等を焼却処分しないことを目指した施策は、個別施策「IV-4-②再資源、再利用化」の中で、個別事業として取り組むことを検討していく。
20	永井委員	「IV-4-④ 低炭素化の推進」について、これまでにCO <sub>2</sub> の削減量にしてはどうかと指摘があり、代替指標として「低炭素住宅を増加させる」指標であるが、目標値が小さいように思う。	■担当課と調整をし、目標値の確認を行う。 □CO <sub>2</sub> の排出については、大学と連携して数値を出す方法を検討したほうが良いと思う。(大澤会長)	温出効果ガスの削減等の目標は、今年度策定を進める個別計画である「地球温暖化対策実行計画」で、学識者等による議論された結果、2030年までに国の目標値と合わせる事となっている。 また、同懇話会でも、2025年の目標値に関する議論はあったが、比例計算で算出できるものではなく、見送られていることから、同指標は採用しない。
21	永井委員	踏み込んだ取組として、PJの中に新エネルギービジョンの再編などについて言及するの	—	市では、家庭における太陽光パネルによって電力の自家消費の推進を図っている。ま

No.	発言者	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
		はいかがか。		た、低炭素ガイドラインの運用により、省エネかつ自給自足を目指したまちづくりの推進を図っている。つくば市での再生可能なエネルギーは、ほとんどが太陽光であるため、現時点で新エネルギービジョンの作成は検討していないことから、PJに入れ込むのは難しい。
22	北本委員	「IV-1 知識集約によってイノベーションを創出する」や、「つくばが「つながる」ための視点」について、つくば市の最大の特徴でもある高度な知識を活用したたまり場などについて言及しても良いと思う。	■今回頂いた意見を踏まえ、再考する。	つながるための視点に「② 知識や経験がつながる」として内容を追加した。
23	桜井委員	全体として、誰をターゲットにした戦略プランであるかを考えつつ、つくば市に住まわれている方も納得するものを作成していただきたい。	—	改めて、市民のための計画であることを強く意識して策定したい。



### 3 議事（2）パブリックコメントの実施について

No.	発言者	意見内容	回答 ■事務局 □その他	対応方針
24	永井 委員	資料4の用語解説について、文言に対応するページ数を記載して欲しい。同じく用語解説について、用語と意味がずれている箇所がある。（アカウント、アクセス、シティプロモーションなど）	■ ページ数の記載は内容が定まり次第記載したい。また資料の誤植は修正する。	文中または文末に挿入するか検討し、文末の場合はページ番号を挿入する。 用語解説については、指摘を踏まえ、修正した。

【つくば市未来構想改定（案）】パブリックコメント手続の  
実施結果と対応方針（案）

【継続審議のため非公開】

【第 2 期つくば市戦略プラン（案）】パブリックコメント  
手続の実施結果と対応方針（案）

【継続審議のため非公開】

## 未来構想及び戦略プランの答申・完成に向けた今後のスケジュール

未来構想は、つくば市未来構想策定条例により、市議会の議決を経ることとなっていることから、第10回審議会後に未来構想の答申を先に行い、答申内容をつくば市未来構想改定案として3月議会定例会へ上程する。一方、戦略プランについては、議決事項となっていないことから、引き続き調整・修正等を行った上で、3月17日の答申を予定している。

### 【未来構想及び戦略プランの主なスケジュール】

年月日	内容
2019年 12月9日～1月13日	パブリックコメントの実施
2020年 1月29日 13:00～ 15:00～	第10回未来構想等審議会(パブコメ後対応方針・未来構想最終案) 審議会終了後、未来構想の答申
2月14日	3月市議会定例会に未来構想改定案を上程
3月6日 10:00～	第11回未来構想等審議会(戦略プラン最終案)
3月17日 11:30～	戦略プランの答申・プレス対応
3月19日	3月議会閉会(未来構想議決)
3月中	未来構想改定及び第2期戦略プラン策定(決裁)

5年前の現構想策定時には、初年度に未来構想(案)を策定し、初年度終了後に答申・議会議決の手続きを取り、次年度に戦略プラン(案)の策定と年度末に答申を行った。今回は、戦略プラン(案)の策定を受けて、必要に応じて未来構想の修正する可能性を考慮し、2年目の年度末において、近い時期に2つの答申を行うこととなっている。

### 【参考：現構想策定時の主なスケジュール】

年月日	内容
2013年 8月27日	第1回つくば市総合計画審議会(諮問)
	(中略)
2014年 4月25日	つくば市総合計画審議会答申「つくば市未来構想(案)の策定について」
6月27日	つくば市未来構想策定条例公布・施行
9月25日	つくば市議会においてつくば市未来構想が可決・成立
	(中略)
2015年 2月6日	第8回つくば市総合計画審議会
3月2日	つくば市総合計画審議会答申「つくば市戦略プラン(案)について」

※諮問・・・未来構想等の策定(に関する基本事項を調査及び審議すること)について、市長から審議会へ依頼するもの。

※答申・・・審議会(会長)から市長へ、審議結果について報告するもの。

つくば市未来構想改定（案）

【継続審議のため非公開】

つくば市第 2 期つくば市戦略プラン（案）

【継続審議のため非公開】